

地域公共交通ワークショップ

実施報告書

実施日：平成31年2月23日(土)

午前10時～12時00分

実施場所：久御山町中央公民館

2階会議室1・2号

事業建設部 新市街地整備室

1. 地域公共交通ワークショップの概要

(1) 実施目的

地域公共交通は本町の将来のまちづくりと一体的に連携し、持続可能なものとするためには、行政と住民(利用者)が協働で取り組んでいくことが必要不可欠である。そのため、住民同士での意見交換(ワークショップ)を通じて、住民自身で地域公共交通を考え、意識醸成を図ることを目的としている。

また、今回のワークショップは来年度以降に実施予定としている御牧地区を対象とした住民勉強会に先がけて実施するものであり、御牧地区の8自治会を対象とした取組となっている。

(2) 日時・場所

- ・平成31年2月23日(土) 午前10時~12時
- ・久御山町中央公民館 2階会議室1・2号

(3) 実施内容

①開会

開会挨拶：中村副町長

②久御山町の公共交通の取組

内容「久御山町の交通の現状と公共交通計画」 説明：新市街地整備室 福田

③有識者による講演

内容「地域のみinnで取り組む私たちの公共交通」

講師：立命館大学 客員協力研究員 井上 学 氏

(久御山町地域公共交通協議会委員)

④意見交換

テーマ「地域にとって必要な公共交通は何か」

講評：立命館大学 客員協力研究員 井上 学 氏

⑤閉会

閉会挨拶：高田事業建設部長

(4)参加者

①当日参加人数：18名(男性：6名、女性：12名)

※参加者は1～3班に振り分け

②地域構成：坊之池 1名、中島 5名、東一口 6名、相島 1名、森 3名
西一口 0名、野村 0名、村東 0名、その他 2名 合計18名

③年齢構成

10歳代 0名(男0・女0)、20歳代 0名(男0・女0)

30歳代 0名(男0・女0)、40歳代 0名(男0・女0)

50歳代 3名(男1・女2)、60歳代 6名(男3・女3)

70歳代 8名(男2・女6)、80歳代 1名(男0・女1)

④参加者選出方法

・御牧地区8自治会に文書回覧による参加募集。

(坊之池、中島、西一口、東一口、相島、野村、森、村東)

(5)意見交換の流れ

- ① 各グループにコーディネーターとして町職員が参加。
- ② 「地域にとって必要な公共交通は何か」をテーマに意見交換を行う。
- ③ 各グループで意見交換の内容を発表。
- ④ 有識者による講評。

2. 各グループの意見交換内容

1 班の発表内容

●現状

- ・のってこタクシーの乗り場が家から遠い。
- ・通勤、通学の際に夜遅くなると不安になる。
- ・通学、通院が不便である。
- ・のってこタクシー北川顔停留所で路線バスに乗り継ぐのは無理。停留所の位置がややこしい。
- ・町外からの来客者が利用する公共交通がない。

●要望

- ・のってこタクシーの路線バス乗継券は帰りの分も欲しい。
- ・のってこタクシーは8時より早い時間も利用できるようにしてほしい。
- ・のってこタクシーの運行時間を朝・夜に拡大してほしい。
- ・のってこタクシーの予約時間を短縮してほしい。
- ・のってこタクシーの乗降場所を各自治会のゴミ集積所にしてはどうか。停留所を増設してほしい。
- ・のってこバスを復活させてほしい。
- ・京阪淀駅や近鉄大久保駅などの私鉄駅に乗り入れて欲しい。
- ・通学時間として7時台、通院時間として8～9時台・12～13時台、帰宅時間として19～20時台に町バスを走らせてほしい。

●提案

- ・朝夕の通学時に町バスを利用してはどうか。
- ・企業の送迎バスやイオンのシャトルバスを利用してはどうか。
- ・南病院の送迎バスが地域を回っている。乗せてくれたら助かる。
- ・町、事業者、自治会の負担ありきで10人乗りぐらいのバスを運行できないか。
- ・のってこバスの運行ルートを整理して、小型バスで回ってもらえたら乗りたい。
- ・自動運転は現在運行中のルートでしか実施されないのであれば、御牧地区は運行しないということなので、まずはバスを運行してもらいたい。

《講評》

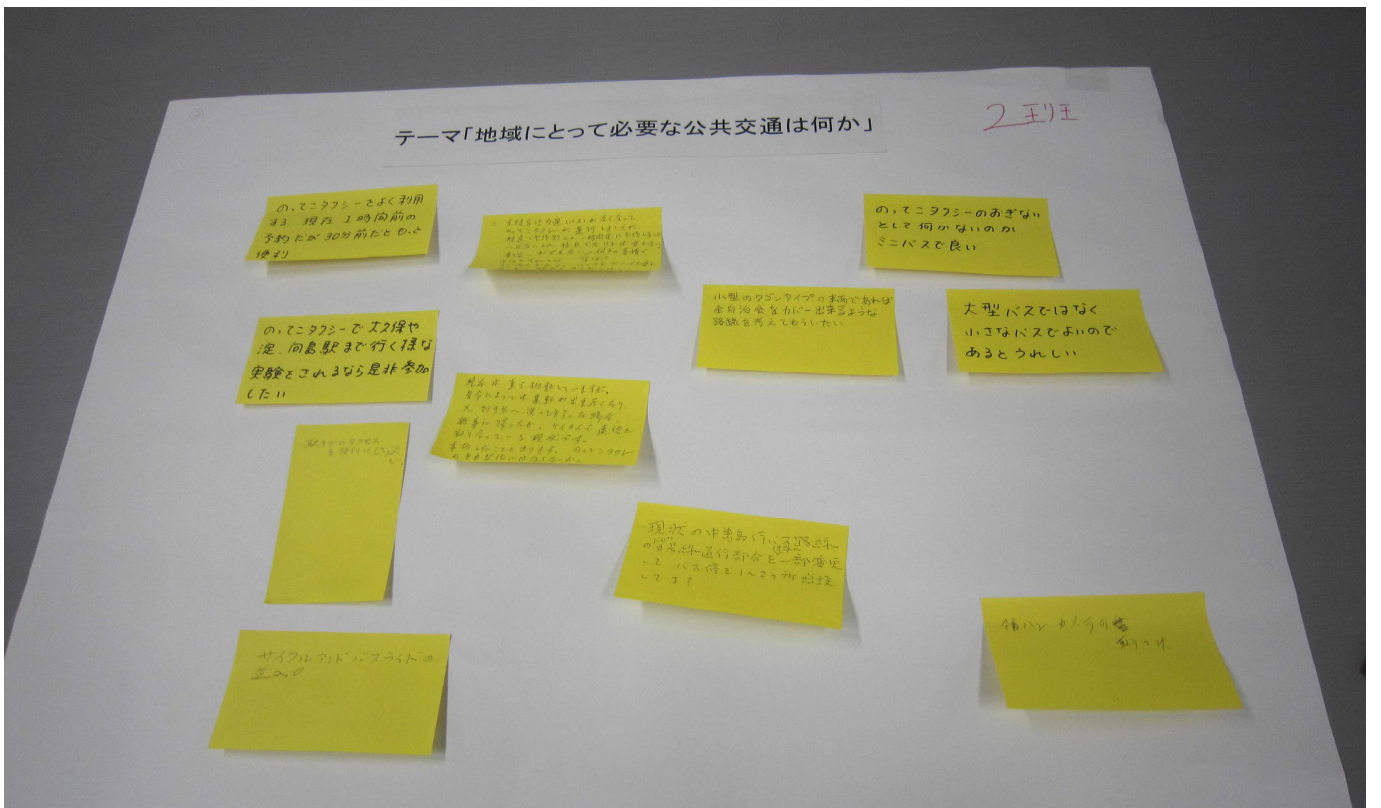
- ・のってこタクシーを利用されている方々の意見がでたのが良かった。
- ・南病院の送迎バスの利活用の提案が良かった。新しいものを作らなくても今あるものを活かしていけば、地域がもっと良くなるのではないかとするのはとても良い視点である。

2 班の発表内容

- のってこタクシーをよく利用している。1時間前予約を30分前予約にしてもらえると便利になる。
- のってこタクシーの「1時間前予約」や「住民しか乗れない」などの規定を緩めてはどうか。
- のってこタクシーで近鉄大久保駅や向島駅、京阪淀駅までいくような社会実験をするならぜひ参加したい。
- 現在は自家用車で移動しているが、年齢を重ねると運転ができなくなる。家族などに送ってもらった時は「無事に帰ったか？」などと携帯電話で連絡を取り合っているのが現状である。また最近事故を起こしたこともあり、のってこタクシーを自由に乗れる形態にはならないか。
- 駅までのアクセスを便利にしてほしい。
- 小型バスでも良いのであると嬉しい。また町全体をカバーできるような路線を考えてもらいたい。
- サイクル&バスライドを導入してみてもどうか。
- 現在の大久保中書島線の運行ルートを国道1号に振り替えて、バス停を1～2箇所増設したら東一口が便利になるのではないか。

《講評》

- のってこタクシーを利用されている方々の意見がでたのが良かった。
- 久御山町の特徴を考えた時に自転車利用が多いということに気づいた点が良かった。他の町の良い例では無く、自分達の町の特徴を考えてバス停までの移動手段として自転車を使うという意見がでたのは良かった。



3 班の発表内容

- ・中島～イオン、中島～京阪淀駅に行くバスがほしい。
- ・御牧地区の交通の不便はこの上ない。京阪淀駅への足がほしい。
- ・のってこバスが無くなってから友達と会える機会が少なくなった。1日数便でいいからバスを走らせてほしい。
- ・町外の病院に行くときに不便。子供は身体が悪いのでバスが無いのは不便。
- ・主人はタクシーに乗って病院に行く。買い物帰りは荷物があるのでタクシーを利用して
- いる。
- ・今年71歳。あと4～5年で免許を返納した後、公共交通が必要。
- ・高齢になっても自動車の運転を続けているが、かなりこわいと思っている。事故を起こしたら大変。バスを走らせてほしい。
- ・回数は少なかったがバスを利用していた。バスの時間にあわせて買い物をしたり、友達とお茶をしたりと楽しんでいた。
- ・イオン～東一口（三菱食品前）～西一口～中島～坊之池～藤和田～北川顔～京阪淀駅のルートで路線があれば嬉しい。
- ・私の主な外出先は伏見、京都駅、四条あたりによく行く。今は駐車場に停めて行くが料金が高くてつく。
- ・京阪淀駅までの路線ができれば、孫の通学に利用できるように朝6時台、夕方6時台まで運行してほしい。また自身も週一回京都に出たい。
- ・のってこタクシーで1ヶ月4,000円以上かかっているという声がある。のってこバスで計算したら2,000円程度になる。
- ・交通にかかる費用が以前のバスに比べて3倍かかる。
- ・のってこタクシーの予約時間を30分前に短縮してほしい。運行時間も朝7時～夜の7時まで延長してもらいたい。
- ・以前のってこタクシーを利用したが、淀の手前で降ろされてしまった。一緒に出かけていた方は身体が不自由な方だったので、考えてしまいました。
- ・公共交通は誰のためのものか。通勤、通学の時間を確保してほしい。高齢者は通院、買い物、友人との交流。
- ・計画期間の5年は長い。
- ・70歳以上の高齢者助成（年2,500円）を増額してほしい。
- ・京都新聞に「近所に食料品店がないと死亡リスクが1.6倍」（5万人を3年間追跡したデータ）との記事が載っていた。

●井上先生 全体総括

- ・各班がそれぞれ久御山町の特徴、自分達の生活に根ざした意見が出てきたのが非常に良かった。これらを踏まえて地域の勉強会をやっていけば、「こういうことができるんじゃないか」、「これなら私も応援できるんじゃないか」といったことに繋がる第一歩になる。
- ・のってこタクシーの1時間前予約の短縮要望があるが、ドライバーの立場になった時に渋滞もひどい中で遅れずに行けるかということを考えてもらいたい。やはり遅れてくるのがお客さんにとって一番イライラする。つまり、予約時間を短縮して遅れてくるよりは1時間前予約で確実に来る方がサービスとして品質が良いと評価される。安心・安全が一番重要ということで、利用者にはご理解していただく必要がある。
- ・のってこバスの話がでていたが、「のってこバスがなぜ無くなったか」、「なぜみんな乗らなかつたか」「なぜ複雑なルートができてしまったか」を思い出してもらいたい。今あるものを活かしていかないといけない。新しい交通手段ができたからとってのってこタクシーが無くなるのはそれはそれで困る。朝夕だけでもバスのような公共交通、昼間はのってこタクシーで良いといった意見があったのは良かった。
- ・死亡リスクの話があったが非常に良かった。自動車を使う人と公共交通を使う人では健康の度合いが倍違う。公共交通を使うということはしんどいことである。車に乗れなくなったらバスに乗りたいという話を良く聞くが無理です。車に乗る体力が無いのにバスに乗ることはできない。
- ・自動車を使うことを否定しているわけではなく、自動車とバスを両方うまく使うことが大事。なかなか自動車をやめるのは難しいが、たまには電車やバス、自転車を使っただけで健康に長生きできる。
- ・運賃の話があったが、自動車は保険、購入費用、駐車場代などを考えると保有してるだけで1日1,700円、月51,000円かかっている。バスが少ないから車が必要という地域なら自動車は1台あればいい。1台あるうえでたまには公共交通を使っただけでいいと思う。

3. ワークショップ参加者アンケート結果

(18名中14名提出)

1 参加された感想をお聞かせください。

- | | |
|------------|----|
| ①良かった | 13 |
| ②良くなかった | 0 |
| ③どちらともいえない | 1 |

2 参加動機についてお聞かせください。(複数回答)

- | | |
|----------------|----|
| ①公共交通に関心があったから | 14 |
| ②案内文書を見たから | 2 |
| ③町に要望があったから | 4 |
| ④その他 | 0 |

3 有識者による講演はどうでしたか。

- | | |
|------------|----|
| ①良かった | 12 |
| ②良くなかった | 0 |
| ③どちらともいえない | 2 |

4 ワークショップ(意見交換)の時間はどのように感じましたか。

- | | |
|---------|----|
| ①ちょうど良い | 11 |
| ②長い | 0 |
| ③短い | 2 |
| 未回答 | 1 |

5 会場の雰囲気はどうでしたか。

- | | |
|------------|----|
| ①良かった | 13 |
| ②良くなかった | 0 |
| ③どちらともいえない | 1 |

6 4月以降に各自治会の集会所等で引き続き意見交換会を実施する予定としていますが、参加したいですか。

- | | |
|----------|----|
| ①参加したい | 14 |
| ②参加したくない | 0 |
| ③わからない | 0 |

7 良かった点、ご感想をお聞かせください。

- ・町の話聞いて町民も何かの協力をしていかなければならないと思う。
- ・御牧地区の住民の足を守り、健康寿命を維持していきたいので、日常生活に欠かせない公共交通を復活してほしい。
- ・井上先生の講演が大変良かった。
- ・地域の勉強会も参加しようと思う。
- ・淀駅まで何とか公共交通を走らせてほしい。
- ・いろいろな意見が聞けた。
- ・様々な意見が聞けて良かった。早くバス路線が復活するようお願いしたい。
- ・あてがわれた交通システムの提案でなく、少しでも住民の意見が反映できるように行政努力を願う。また、3班の意見にもあったように5年後の実現の短縮をお願いしたい。